

第43回

只見町文化祭

自然首都・只見からの発信

只見ユネスコエコパークで地域を創造しよう

今年で43回目を迎えた只見町文化祭は町民体育館をメイン会場として11月3日、4日の2日間にわたり開催しました。朝日小学校鼓笛隊の素晴らしい演奏で開館し、開催期間中の入場者数は3400名となりました。これは昨年よりも約3割増しの入場者数で本当に多くの方に足を運んで頂いた文化祭となりました。

「只見ユネスコエコパークで地域を創造しよう」というメインテーマのもと、メインコーナーではユネスコエコパークの登録を目指した現在までの取組みや先日開催された地域シンポジウムの様子などがパネルなどにより紹介されました。また今年も昨年よりも体験コーナーが充実され、昨年も好評だった俳句・短歌づくり体験や折り紙体験の他にも若者文化コーナーではミサンガやキーホルダー作り、手工芸コーナーではペットボトルのキャップを使った米俵づくりなどが行われました。また、ふるさと只見人材





育成講座4期生によるヒロロコースター作りや
 成果発表などのコーナーも来場者に好評でし
 た。鉄道模型作りのコーナーではたくさん子供
 たちが保護者の方と一緒に熱中しながら模型作
 りを楽しみ、しめ縄作りやツル細工体験コー
 ナーでは熟練の方が子供たちに作り方のコツ教
 え子供たちは一生懸命に話を聞き作業に取り
 組んでいました。

体験コーナーの他にも毎年人気の赤十字奉
 仕団ともしび会によるチャリティーバザーや健
 康チェックが出来るコーナー、只見高校生によ
 る作品展示や映像作品の放映、東洋大学講師
 を務める久野俊彦氏による只見町の戦国時代
 の書物文化財を演題とした貴重な文化講演も
 行なわれました。また、町下野球場では元プロ
 野球選手の野口寿浩氏、和田孝志氏による野
 球教室が開催されるなど様々な事を体験出来
 た秋の2日間となりました。

